

# 新発見 乳酸菌を含む腸内細菌群 TL9 検証データ



久保 明医学博士  
高輪メディカルクリニック 院長

1979年慶応義塾大学医学部卒業。1988年米国ワシントン州立大学医学部動脈硬化研究部門留学。東京都済生会中央病院内科副院長を経て「高輪メディカルクリニック」を1996年に設立し院長に就任。2006年より東海大学医学部抗加齢ドック教授、新潟薬科大学客員教授。

日本テレビ「思いっきりテレビ」TBS「はなまるマーケット」フジテレビ「とくダネ！」テレビ朝日「スーパーJチャンネル」などテレビ出演多数。また、サプリメントやスポーツ医学の世界最先端の情報と実践を駆使した講演、企業のアドバイザー活動も幅広く行っている。

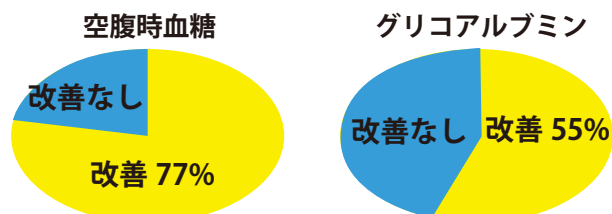
## 新発見 乳酸菌を含む腸内細菌群 TL9 機能検証総括 考察

- 1) 糖代謝に関しては、その時の血糖値を（空腹時血糖）80%で改善しただけでなく、約2週間の平均値であるグリコアルブミン、1～2ヶ月間の血糖値の平均値であるヘモグロビンA1cの各々も約半数で改善したことは、本剤の継続服用への可能性を示すものと思われる。このことは、期間中の体重減少例が55%であることと合わせて、代謝改善の働きを意味するものと言えよう。
- 2) 脂質代謝に関しては、わずかではあるが悪玉とされるLDLコレステロールの平均値が下がり、善玉コレステロールの平均値が増加したことは興味深い。今後アポ蛋白などさらに詳しい代謝指標による検証が必要と考えられる。

高輪メディカルクリニック 院長 久保 明

### 糖代謝

本剤服用前後に関する指標は以下の通り変化した

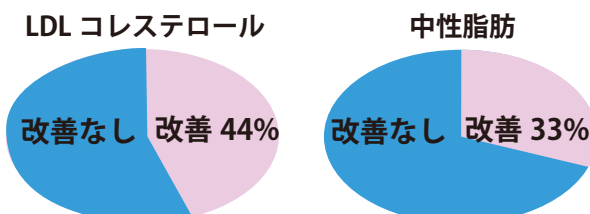


空腹時血糖値が126mg/dl以上、随時血糖値が200mg/dl以上の基準を満たす場合に糖尿病と診断します。

中期的な糖尿病コントロール状態の指標で、過去1～2週間の血糖コントロールの状態（血糖値の平均）を繁栄します。血液中のアルブミンという蛋白質に糖が結合したものです。

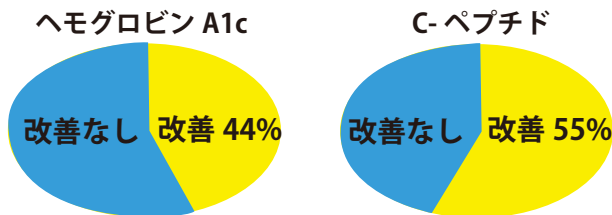
### 脂質代謝

本剤服用前後に関する指標は以下の通り変化した



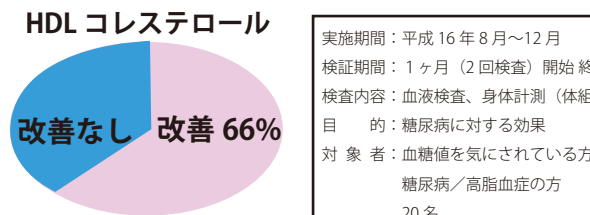
動脈硬化症の危険因子である高脂血症、高血圧についてもしっかりコントロールする必要があります。

空腹時の値が50mg/dl以下が基準。増加すると動脈硬化を促進するので脂肪、砂糖の摂取を制限する必要があります。



過去1～2ヶ月間の血糖値の平均を反映します。高血糖が続くと赤血球の中のヘモグロビンの一部に糖が結合します。その赤血球の寿命が尽きるまではなれません。健康人では5.8%以下です。

インスリンが分泌されるときに、インスリン分子一個につきC-ペプチドも一個放出される。これを測定することによりインスリン治療中の患者においてもインスリン分泌能力を推測できるものです。



善玉コレステロールと言われ、動脈硬化症、高脂血症、高血圧の改善につながります。

実施期間：平成16年8月～12月  
 検証期間：1ヶ月（2回検査）開始終了  
 検査内容：血液検査、身体計測（体組成）  
 目的：糖尿病に対する効果  
 対象者：血糖値を気にされている方  
 糖尿病/高脂血症の方  
 20名  
 使用方法：1日1回服用  
 体重90kg以上の方3カプセル  
 体重30kg以上の方2カプセル  
 体重30kg以下の方1カプセル  
 検証年齢：49歳～76歳